

「Epson 25」実現に向けた取り組みの進捗

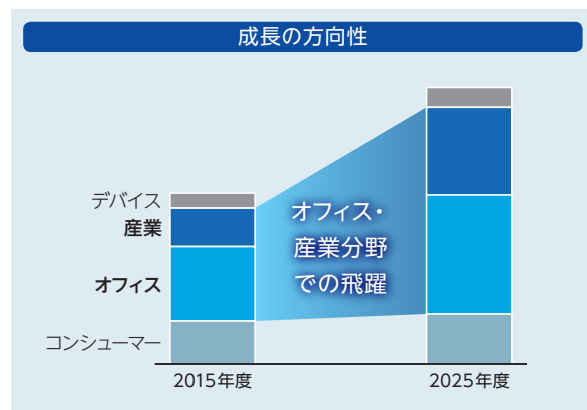
エプソンは、2017年4月に経営理念を一部改定し、「なくてはならない会社」という言葉を加えました。これは、長期ビジョン「Epson 25」に掲げた4つのイノベーションを起こすことで、より良い社会の実現に中心的な役割を果たし、社会にとって「なくてはならない会社」でありたいという志の下、新しい価値の創造に挑戦し続けるという強い決意を込めたものです。

ここでは、「なくてはならない会社」の実現に向けた、2016年度における主な取り組みをご紹介します。

成長の方向性と第1期中期経営計画の位置づけ

エプソンは、インクジェット・ビジュアル・ウェアラブル・ロボティクスでのイノベーションを実現し、コア技術に裏付けされた製品群を、コンシューマー分野のお客様だけでなく、オフィス・産業分野にも展開することで大きな飛躍を目指しています。

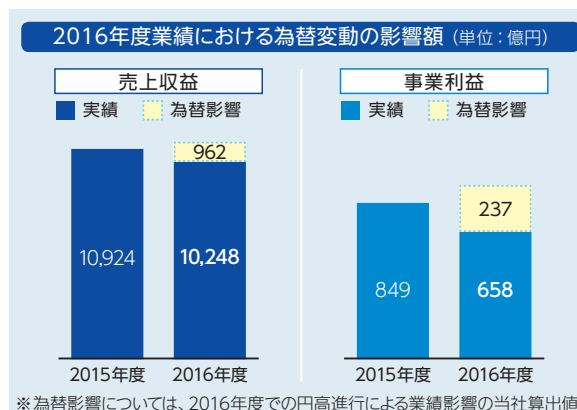
そのために、2016年度からスタートした第1期中期経営計画においては、今後の安定的な売上収益成長のために、製品開発の仕込みや生産能力増強などを積極的に行い、成長に向けた基盤をつくり上げることを目指しています。



2016年度業績の概要

2016年度業績は、米ドルやユーロなどの為替が一般的に円高で推移した影響を大きく受けたことにより、売上収益・事業利益は前年度を下回りましたが、為替影響^{*}を除いた場合は実質的に増収増益を確保することができました。

このような事業環境のもと、大容量インクタンク搭載プリンターや、サイネージ・テキスタイル向けの大判インクジェットプリンターのほか、プロジェクターおよびロボットなどの戦略製品の販売は順調に拡大するとともに、将来成長に向けた研究開発やオフィス・産業分野の開拓に向けた投資などの戦略的費用も着実に投入しました。



お客様価値創出に向けた取り組みの進捗

2016年度は、いくつかの戦略製品の開発が完了し、Epson 25で掲げるイノベーションの実現に向けて、新たなお客様価値を創出する大きな一歩を踏み出すことができました。

「高速ラインインクジェット複合機 開発完了」※1

PrecisionCore ラインヘッドを搭載した高速ラインインクジェット複合機/プリンターにより、オフィスプリントでイノベーションを起こし、エプソンの新たな成長ドライバーとして着実な拡大を目指します。



※1 2017年度上期に国内販売開始

「新開発レーザー光源搭載高光束プロジェクター発売」

市場拡大が継続する高光束分野に、レーザー光源を搭載した新製品を投入し、商業分野のご要望にもお応えできるようになりました。



「世界初※2の乾式オフィス製紙機「PaperLab」発売」

エプソン独自の「ドライファイバーテクノロジー」により実現した、世界初の乾式オフィス製紙機「PaperLab」を発売。紙の再生サイクルを変え、安心して印刷していただける環境を実現します。



「ドライファイバーテクノロジー」や「PaperLab」の開発は、その独自性に加え、環境負荷低減という社会的課題を解決しながら、読みに優れる紙の良さをサステナブルに生かせる仕組みを作ったことなどが評価されています。

賞名	主催	受賞年月
「2016年日経地球環境技術賞」優秀賞	日本経済新聞社	2016年11月
「第15回日本イノベーター大賞」大賞	日経BP社	2016年11月
「日本クリエイション大賞2016」技術革新創造賞	日本ファッション協会	2017年 3月
「第46回日本産業技術大賞」内閣総理大臣賞	日刊工業新聞社	2017年 4月

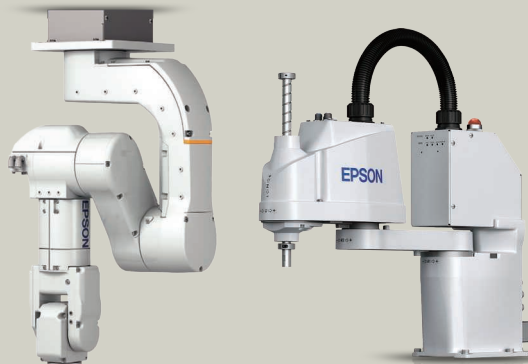
※2 2016年11月時点、乾式のオフィス製紙機において世界初（エプソン調べ）



「大容量インクタンク搭載プリンターの拡大継続」

2016年度の販売数量が、エプソンのインクジェットプリンター全体の約40%となる600万台を超え、2010年の販売開始以来の累計で2,000万台を突破しました。

市場も活性化しており、さらなる拡大が期待されます。



「生産現場の自動化のハードルを下げる新製品」

市場拡大が継続する小型精密ロボット分野において、生産現場へのロボット導入のハードルをさらに下げる新製品の投入が進みました。



「プロフェッショナルプリンティング事業の強化」

テキスタイル分野（服飾生地などへの印刷）やサイネージ分野（広告・看板印刷）での販売も順調に拡大しています。

将来成長の加速に向け、イタリアで、ロブステリ社の完全子会社化や研究開発施設の整備などを進めました。



「ウェアラブル機器の事業基盤の整備」

アナログクォーツウォッチに加え、メカニカルウォッチに強みをもつオリエント時計、高精度なセンシングが特長のWristableGPSなど、エプソンにしか実現できない価値をお届けするための事業基盤整備が進みました。

事業基盤強化の進展

事業成長に向けた研究開発拠点の整備や、生産工場の拡充も着実に進展しています。

プリンターの生産拠点であるインドネシアでは2016年度に新工場が稼働し、また、プロジェクト・プリンターの生産拠点であるフィリピンでも新工場稼働の準備が進んでいます。



インドネシア新工場

PrecisionCore マイクロTFPプリントチップ（原寸）

エプソンは、ピエゾ素子の製造からヘッド組立のラインに至るまで自ら作り上げることで、性能向上に取り組んでいます。今後も、お客様価値創出のための技術を磨き続けていきます。

国内では、秋田エプソンにプリントヘッド組立の新工場が稼働し、PrecisionCoreの基幹部品の開発・生産拠点として、広丘事業所（長野県塩尻市）に新工場の建設を開始しました。



秋田エプソン新工場



広丘事業所新工場（完成予想図、2018年度稼働予定）

2017年度の取り組み

2017年度も取り組みの方向性は変わりません。引き続き、戦略製品の開発や新規領域を中心とする販売強化を着実にを行うことにより、長期ビジョンの実現に向けた基盤づくりを図るとともに、持続的な成長を目指しています。

厚生労働大臣が認定する「プラチナくるみん」「えるぼし」を取得



エプソンは、「次世代育成支援対策推進法」に基づき、積極的な子育て支援を行い、すでに「くるみん認定」を受けているうえで、さらに高い水準で取り組みを継続している企業が認定される「プラチナくるみん」を2016年5月に取得しました。

今後も、社員が適切なワーク・ライフ・バランスのもとに働ける環境整備に取り組み、また積極的に次世代育成支援に取り組むことで、地域社会にも貢献したいと考えています。



また、エプソンは、「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」に基づき、行動計画の策定・届出を行った企業のうち、一定の基準を満たし、女性の活躍推進に関する状況などが優良な企業として認定される「えるぼし」を2016年7月に取得しました。

引き続き、行動計画の目標を達成すべく、より多くの女性社員が指導的立場で活躍できるよう取り組んでいきます。

経済産業省と日本健康会議が共同で顕彰する「健康経営優良法人2017 大規模法人部門(ホワイト500)」に認定



「健康経営優良法人」は2016年度に新たに始まった制度で、保険者と連携して優良な健康経営を実践している大規模法人を顕彰するものです。認定基準は「健康保持・増進に関する方針を社内外に発信している」「健康課題に対して改善目標指標を設定している」「健保等保険者と連携を行っている」などの19項目からなり、エプソンは全ての基準を満たし、特に優良な健康経営を実践する企業として2017年2月に認定されました。

今後も、社員が生き生きと働くことができる健康的な職場環境づくりと同時に、社員の自律的な健康管理をサポートする取り組みを進めていきます。

商号	セイコーエプソン株式会社 (SEIKO EPSON CORPORATION)										
創立	1942年5月18日										
本社	〒392-8502 長野県諏訪市大和三丁目3番5号 TEL: 0266-52-3131 (代表)										
本店	〒160-8801 東京都新宿区新宿四丁目1番6号 JR新宿ミライナタワー TEL: 03-5368-0700 (代表)										
資本金	532億4百万円										
従業員数	連結: 72,420人 単体: 12,238人 所在地別 連結従業員数 割合 <table border="1"> <caption>所在地別連結従業員数割合</caption> <thead> <tr> <th>地域</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アジア・オセアニア</td> <td>66.3%</td> </tr> <tr> <td>日本</td> <td>26.5%</td> </tr> <tr> <td>米州</td> <td>4.1%</td> </tr> <tr> <td>欧州</td> <td>3.1%</td> </tr> </tbody> </table>	地域	割合	アジア・オセアニア	66.3%	日本	26.5%	米州	4.1%	欧州	3.1%
地域	割合										
アジア・オセアニア	66.3%										
日本	26.5%										
米州	4.1%										
欧州	3.1%										
グループ会社	88社 (当社含む国内17社、海外71社) 仕向地域別 売上収益割合 (2016年4月～ 2017年3月) <table border="1"> <caption>仕向地域別売上収益割合 (2016年4月～2017年3月)</caption> <thead> <tr> <th>地域</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アジア・オセアニア</td> <td>26.4%</td> </tr> <tr> <td>日本</td> <td>24.5%</td> </tr> <tr> <td>米州</td> <td>28.4%</td> </tr> <tr> <td>欧州</td> <td>20.7%</td> </tr> </tbody> </table>	地域	割合	アジア・オセアニア	26.4%	日本	24.5%	米州	28.4%	欧州	20.7%
地域	割合										
アジア・オセアニア	26.4%										
日本	24.5%										
米州	28.4%										
欧州	20.7%										

決算期	3月31日
定時株主総会	6月
期末配当金支払株主確定日	3月31日
中間配当金支払株主確定日	9月30日
株主名簿管理人	〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
未払配当金の支払い、支払 明細発行のお問い合わせ先・ 郵便物送付先 ^{※1}	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL: 0120-232-711 (通話料無料)
特別口座管理機関	〒103-8670 東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
特別口座に記録された株式に 関する各種お手続きの問い 合わせ先・郵便物送付先 ^{※2}	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL: 0120-288-324 (通話料無料)
公告掲載方法	電子公告により行う。ただし、事故その他やむ を得ない事由によって電子公告による公告を することができない場合は、日本経済新聞に 掲載して行う。
公告掲載アドレス	http://www.pronexus.co.jp/koukoku/6724/6724.html

※1 住所氏名変更・配当金振込先指定(変更)等の事務手続きについては、お取引の証券会社等にお問い合わせの上、所定の変更届等を提出してください。

※2 特別口座にて管理されている単元未満株式(100株未満)の買取りの際には、買取請求書を上記「みずほ信託銀行株式会社 証券代行部」にご請求の上、同行にて所定の手続きを行ってください。

<MEMO>

.....

.....

.....

.....

第75回定時株主総会 会場のご案内

会場

シェラトン都ホテル東京 地下2階 だいご「醍醐」

東京都港区白金台一丁目1番50号

電話：03-3447-3111 (代表)

株主総会会場は、下記案内図をご参照ください。

交通のご案内

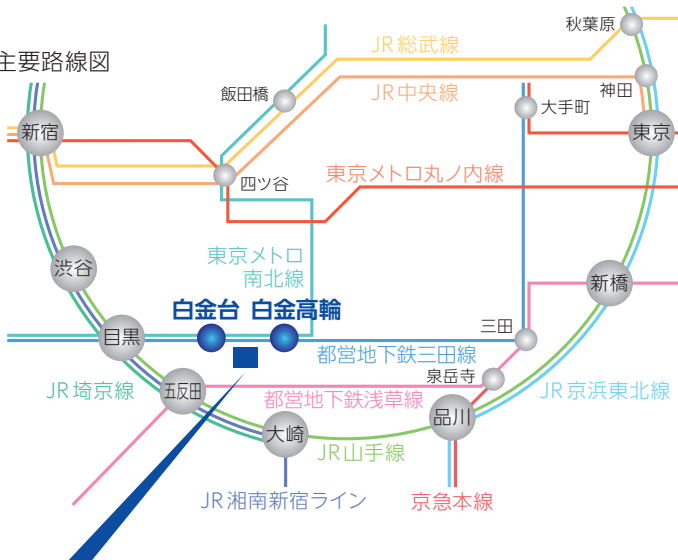
● 東京メトロ南北線 ● 都営地下鉄三田線

白金台駅 2番出口より徒歩4分

白金高輪駅 1番出口より徒歩5分

※駐車場のご用意はいたしておりませんので、
ご来場の際は公共交通機関をご利用ください。

主要路線図



セイコーエプソン 株式会社

ホームページアドレス <http://www.epson.jp>



UD FONT

この招集ご通知は、FSC®認証紙と、環境にやさしい
植物油インキを使用して印刷しています。

見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。